

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 フリーダイヤル 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ijtt-hd.com">http://www.ijtt-hd.com</a> (ただし、電子公告をすることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本 経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 当社と株式会社アイメタルテクノロジー、自動車部品工業株式会社、テーデーエフ株式会社の株式移転の効力発生日の前日である平成25年9月30日において各社の株式を特別口座でご所有の場合、株式移転前の各社の株主名簿管理人が特別口座の口座管理機関となっております。特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、下記特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。なお、特別口座の口座管理機関の全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 上記3社の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(旧)テーデーエフ株式会社株式にかかる特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

・同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 Tel.0120-782-031 (通話料無料)

(旧)株式会社アイメタルテクノロジー及び自動車部品工業株式会社株式にかかる特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)

株主の皆様へ

平成26年3月期第2四半期のご報告ならびに経営統合のご挨拶



IJTT  
H O L D I N G S

IJTテクノロジーホールディングス株式会社

株式会社アイメタルテクノロジー  
自動車部品工業株式会社  
テーデーエフ株式会社

証券コード：7315

 IJTテクノロジーホールディングス株式会社

〒108-0075 東京都港区港南1丁目8番27号 日新ビル11階

Tel.03-5715-2681 (代表)

<http://www.ijtt-hd.com>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

# グループ企業理念

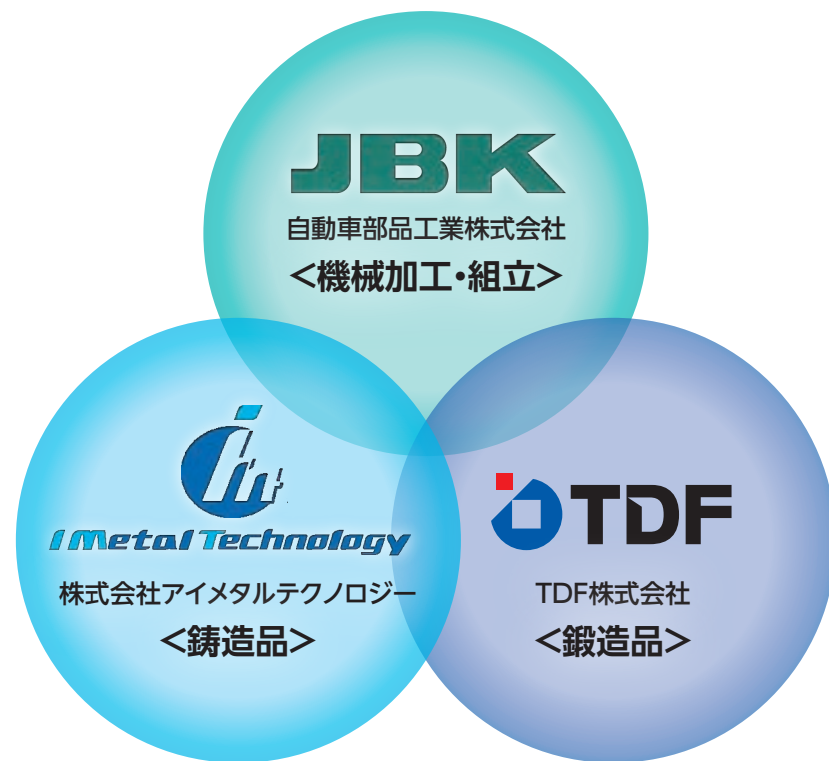
私たちIJTTグループは、「ものづくり」の技術を極め、お客様の事業発展に貢献していきます。



- ・グループのチームワークをベースに、環境と調和した先進技術に挑戦し、信頼される「ものづくり」のパートナーとしてお客様に貢献していきます。
- ・グローバルに広がる事業環境において、持続的成長を実現し、企業価値を高めていくことで、国際社会に貢献していきます。

## CONTENTS

- ・グループ企業理念…………… 1
- ・トップメッセージ…………… 2
- ・会社情報…………… 3
- ・グループ会社の概要…………… 4
- ・当第2四半期の概況  
株式会社アイメタルテクノロジー…………… 5
- ・当第2四半期の概況  
自動車部品工業株式会社…………… 7
- ・当第2四半期の概況  
TDF株式会社…………… 9
- ・株主メモ…………… 裏表紙



## トップメッセージ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

IJTテクノロジーホールディングス株式会社は、株式会社アイメタルテクノロジー、自動車部品工業株式会社、テーデーエフ株式会社の共同持株会社として、平成25年10月1日に設立されました。

3社は、アイメタルテクノロジーは鋳造品を、テーデーエフは鍛造品を、自動車部品工業は機械加工・組立を、それぞれがトラックメーカー様や建設機械メーカー様に供給し、長年にわたり自動車産業・建設機械産業の発展に寄与してまいりました。

しかしながら、近年、3社を取り巻く国内外の事業環境は、大きく変化してきております。

特に海外では、アセアン地域やその他の新興国などでの急速な市場拡大のもと、3社の主要なお客様が現地で生産を拡大していることから、お客様のニーズに合わせた海外展開推進が急務となっております。

このような事業環境のもと、当社は3社それぞれの持つ経営資源と技術力を結集し、相互補完することで、3社の強みを統合するとともに、迅速な海外展開を実現し、現地での一貫生産によるコスト競争力向上を通じて、お客様のニーズに応え続けることを目的として経営統合いたしました。

これからは、3社が長年培ってきた企業文化や経営理念を尊重し、3社の国内事業の枠組みは基本的に維持しながら、特に海外など事業展開の迅速さや一定の規模が求められる分野において、協業効果を発揮してまいります。

このたび、当社グループの当第2四半期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）の事業の概況等を報告する「株主の皆様へ」をお手元にお届けいたします。

今後とも、グループ企業理念に掲げました「ものづくりの技術を極め、お客様の事業発展に貢献していきます」を実践し、株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって事業に邁進してまいります。

株主の皆様には、今まで以上のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長  
清水 康昭

■ 会社概要

社名 (英訳名)	IJTテクノロジーホールディングス株式会社 (IJT Technology Holdings Co., Ltd.)
株式市場	東京証券取引所市場第2部
代表者の役職氏名	取締役社長 清水 康昭
本店所在地	〒108-0075 東京都港区港南一丁目8番27号
ホームページアドレス	http://www.ijtt-hd.com
設立年月日	2013年(平成25年)10月1日
事業の内容	トラック用部品・建設機械用部品の製造・加工・販売等を営む子会社等の経営管理、並びにこれに附帯関連する事業
資本金	55億円

■ 取締役

取締役会長	鈴木 浩
代表取締役社長	清水 康昭
専務取締役	増田 克己
取締役	大岡 信一
取締役	佐々木 誠
取締役	伊藤 正敏
取締役	境 琢磨
取締役	齋藤 誠

■ 監査役

常勤監査役	山田 勉
監査役	本木 潤
監査役	宮崎 健司
監査役	土屋 市郎

株式会社  
アイメタルテクノロジー

社名	株式会社アイメタルテクノロジー
英文名	I Metal Technology Co., Ltd.
設立	1937年8月
本社所在地	〒300-0015 茨城県土浦市北神立町4番2
事業内容	自動車用鋳物、建設機械用鋳物、産業車両用鋳物及び一般鋳物の製造、仕入、加工、販売
資本金	14億80百万円
代表者	取締役社長 大岡 信一

自動車部品工業  
株式会社

社名	自動車部品工業株式会社
英文名	Jidosha Buhin Kogyo Co., Ltd.
設立	1938年8月
本社所在地	〒243-0434 神奈川県海老名市上郷四丁目3番1号
事業内容	産業用ディーゼルエンジン及び各種車両用機能部品の製造、開発設計・実験
資本金	23億31百万円
代表者	取締役社長 清水 康昭

TDF株式会社

社名	TDF株式会社
英文名	TDF CORPORATION
設立	1930年2月
本社所在地	〒989-1321 宮城県柴田郡村田町大字沼辺字方作39番地
事業内容	鍛工品の製造及び販売、鍛工品用金型の製作並びに販売
資本金	16億94百万円
代表者	取締役社長 佐々木 誠

## ◆ 株式会社アイメタルテクノロジー

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策などにより輸出や公共投資が増加する中で、企業収益が改善し個人消費も底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経済情勢の下、当社グループの得意先であるトラック業界は、国内では政府による諸政策の推進等により堅調に推移いたしました。一方、海外ではアジアをはじめとする新興国経済の減速により、横ばいの推移となりました。

建設機械業界におきましては、国内では政府による諸政策の推進等による需要を背景に底堅く推移するものの、海外では新興国市場及び中国市場の成長鈍化により、需要は全体として減少傾向で推移いたしました。

また、第1四半期連結会計期間において当社の持分法適用関連会社であったPT.ASIAN ISUZU CASTING CENTERの株式を追加取得し、連結子会社といたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は265億76百万円（前年同四半期243億46百万円の9.2%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は6億84百万円（前年同四半期3億36百万円の103.2%増）、経常利益は7億6百万円（前年同四半期2億72百万円の158.9%増）となりました。この主な要因は、為替の変動による為替差益の発生及び業務の見直し等によるコスト削減効果などです。これに、特別利益として負ののれん発生益17億85百万円、特別損失として段階取得に係る差損等7億31百万円を計上し、税金費用を控除した結果、四半期純利益は14億35百万円（前年同四半期1億65百万円の769.5%増）となりました。

## 連結財務諸表(要約)

### ◆ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年9月30日現在	前 期 平成25年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	14,656	13,245
固定資産	34,158	28,955
有形固定資産	32,680	27,060
無形固定資産	214	227
投資その他の資産	1,263	1,668
資産合計	48,814	42,201
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	15,185	14,858
固定負債	8,907	7,378
負債合計	24,093	22,237
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	19,815	18,515
その他の包括利益累計額	1,073	1,449
少数株主持分	3,832	—
純資産合計	24,721	19,964
負債純資産合計	48,814	42,201

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	26,576	24,346
売上原価	24,065	22,191
売上総利益	2,510	2,155
販売費及び一般管理費	1,826	1,818
営業利益	684	336
営業外収益	206	83
営業外費用	184	147
経常利益	706	272
特別利益	1,785	0
特別損失	731	13
税金等調整前四半期純利益	1,760	259
法人税等	265	94
少数株主損益調整前四半期純利益	1,494	165
少数株主利益	59	—
四半期純利益	1,435	165

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,356	2,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,986	△1,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,608	△1,375
現金及び現金同等物に係る換算差額	△489	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△509	△329
現金及び現金同等物の期首残高	3,725	4,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,216	4,067

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ◆ 自動車部品工業株式会社

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要及び金融緩和の継続等の政策効果により消費が増加傾向にあり、景気持ち直しの動きが継続しているものの、米国における財政問題の影響が残る等、景気の先行き不透明感が一掃できない状況の中で推移いたしました。

トラック市場におきましては、国内では復興需要に加え、景気対策等の政策効果により需要は堅調に推移するとともに、海外においてはインドネシア、タイを中心とした新興国での足元の需要には減速感が見られましたが、拡大傾向は継続いたしました。

一方、建設機械市場におきましては、国内では復興関連を中心とした需要拡大が継続するとともに、海外では大きく需要が落ち込んでいた中国においてインフラ投資が増加する等、需要回復の傾向にはあるものの、東南アジアにおいては通貨安等の影響を受けて需要に減速感が生じる状況となりました。

このような情勢下、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期と比べ58億9千3百万円増加し、348億6千6百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間の損益面におきましては、国内における自動車用部品等の売上は若干減少したものの、エンジン部品の売上並びにアジアにおける自動車用部品等の売上が堅調に推移した結果、営業利益は前年同四半期と比べ9千5百万円増加し14億9千1百万円となりました。

経常利益は為替の影響により、前年同四半期と比べ5億5百万円増加し21億7千1百万円、四半期純利益は前年同四半期と比べ4億7百万円増加し13億6千6百万円となりました。

## 連結財務諸表(要約)

### ◆ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年9月30日現在	前期 平成25年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	20,942	18,035
固定資産	24,754	23,820
有形固定資産	22,463	21,597
無形固定資産	117	96
投資その他の資産	2,173	2,127
資産合計	45,697	41,856
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	13,643	11,608
固定負債	5,356	5,444
負債合計	19,000	17,052
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	18,599	17,398
その他の包括利益累計額	6,794	6,351
少数株主持分	1,302	1,053
純資産合計	26,696	24,803
負債純資産合計	45,697	41,856

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	34,866	28,972
売上原価	31,752	26,292
売上総利益	3,113	2,680
販売費及び一般管理費	1,621	1,284
営業利益	1,491	1,396
営業外収益	701	300
営業外費用	22	30
経常利益	2,171	1,665
特別利益	0	0
特別損失	5	25
税金等調整前四半期純利益	2,166	1,640
法人税等	642	623
少数株主損益調整前四半期純利益	1,523	1,017
少数株主利益	156	58
四半期純利益	1,366	959

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,367	1,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,498	△1,609
財務活動によるキャッシュ・フロー	539	△595
現金及び現金同等物に係る換算差額	130	△16
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△462	△584
現金及び現金同等物の期首残高	3,963	5,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,501	5,233

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ◆ TDF株式会社

当第2四半期連結累計期間のわが国内外の経済情勢は、国内景気においては、円安・株高と政府の各種経済対策を受け輸出関連企業を中心に回復基調に推移しました。海外景気においては、米国での金融緩和策の下支えにより回復基調が持続されましたが、欧州経済では債務問題も継続しており、景気は依然として低調に推移しました。

自動車業界におきましては、国内ではエコカー補助金の終了があり、生産販売は弱含みで推移しました。また海外では中国をはじめとする新興国での成長は鈍化がみられましたが、依然として高い水準で推移しました。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、109億21百万円（前年同四半期2.1%減）となりました。また営業利益は、国内子会社の乗用車向け販売が増加したものの、為替変動によるエネルギー価格等の更なる値上がりにより製造経費が増加し、1億57百万円（前年同四半期45.3%減）となりました。一方、アセアン地域の生産の堅調な推移により持分法による投資利益が増加し、経常利益は1億89百万円（前年同四半期43.8%減）、四半期純利益は1億17百万円（前年同四半期57.7%減）となりました。

## 連結財務諸表(要約)

### ◆ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年9月30日現在	前 期 平成25年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	9,537	12,150
固定資産	12,694	10,356
有形固定資産	10,158	7,915
無形固定資産	133	86
投資その他の資産	2,401	2,354
資産合計	22,231	22,507
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	9,099	9,226
固定負債	3,947	4,288
負債合計	13,046	13,514
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	7,323	7,237
その他の包括利益累計額	436	360
少数株主持分	1,425	1,395
純資産合計	9,184	8,992
負債純資産合計	22,231	22,507

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高	10,921	11,153
売上原価	10,351	10,472
売上総利益	570	681
販売費及び一般管理費	412	393
営業利益	157	288
営業外収益	132	96
営業外費用	101	47
経常利益	189	337
特別利益	0	0
特別損失	23	29
税金等調整前四半期純利益	166	307
法人税等	50	29
少数株主損益調整前四半期純利益	116	277
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純利益	117	277

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### ◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで	前第2四半期 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△217	551
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,417	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411	47
現金及び現金同等物に係る換算差額	63	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,982	10
現金及び現金同等物の期首残高	5,462	2,560
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,479	2,571

※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。